◇　◇　第二種研究会開催案内　◇　◇

●2019 年情報通信マネジメントワークショップ

委員長　吉原貴仁
日時　2019 年 3 月 7 日（木）　13：15〜17：15
会場　久米島イーフ情報プラザ（島尻郡久米島町字比嘉 160-57）
テーマ：AI が導く全自動 IT はどこまで信頼できるのか？
概要
　昨今の AI 技術の進展に伴う産業界での利用拡大はすさまじく，近い将来，ICT 分野の様々な技術・プロダクトは AI による自動化と切っても切れない間柄になると想定される．自動化によるシステム品質や業務作業品質の維持・向上や省力化の大きなメリットを享受できる反面，AI システムの故障や予期しない動作による想定しえないセキュリティトラブルや事故の発生が懸念される．AI 技術の導入には，より一層の工夫とセーフティネットなどの危険回避策が必要になると想定される．
　本ワークショップでは，現状における AI 技術の進歩と課題を確認しつつ，AI による ICT 分野での自動化進展状況を捉え，今後の自動化の展望と課題を探る．
プログラム
・招待講演
〔招待講演 1〕　言語系 AI によるコンタクトセンタデジタライゼーションの取り組み
　　坪内成明（NTT コミュニケーションズ）
〔招待講演 2〕（仮）AI 技術による Zero Touch Operation への挑戦　　諏訪裕一（ドコモ・テクノロジ）
〔招待講演 3〕（仮）仮想ネットワーク基盤制御への機械学習適用の取り組み　　宮澤高也（NICT）
〔招待講演 4〕　セキュリティログ分析への AI 適用と課題　　溝口和寛（NTT ネオメイト）
〔招待講演 5〕　AI の本質／実状とビジネス適用へのポイント―AI による業務の自動化は可能か？―
　　渡辺憲和（日立）
・パネルディスカッション
　パネルチェア：山下陽一（NTT ネオメイト）
　パネリスト：招待講演者 5 名
懇親会
　プログラム終了後に懇親会を開催します．また，本懇親会にて 2018 年の ICM 研究賞，ICM 功労賞，ICM 英語セッション奨励賞の表彰式を行う予定です．
　カジュアルウェアでの参加をお勧めします．
【問合先】
　服部雅晴（KDDI 総合研究所）
　　E-mail：icm-kanji@mail.ieice.org
主催　情報通信マネジメント研究専門委員会
◎http://www.ieice.org/~icm/jpn/

●第 68 回機能集積情報システム研究会

委員長　福士　将（山口大）　副委員長　金子晴彦（東工大）
日　時　2019 年 3 月 8 日（金）　13：30〜19：00（予定）
会　場　海峡メッセ下関 803 会議場（http://www.kaikyomesse.jp）
　本研究会は，ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します．本研究会は，平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降，複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました．
　近年の LSI 製造技術の進歩により，大規模かつ斬新な情報処理機能を，シリコン・ウェーハや VLSI，3D IC（three-dimensional integrated circuit）上に集積・実装する情報システム FIIS（Functional Integrated Information System）の構築技術が注目されています．本研究会では，次に示す FIIS 構築に関する幅広い研究分野を対象としています．
・情報システム設計に関する技術：誤り訂正・回復技術，SoC（System-on-Chip）や NoC（Network-on-Chip）などの耐故障・再構成可能システムの構築技術，低消費電力技術，機械学習を用いた情報システム設計法，近似・確

率計算を用いたシステム設計法

・LSI 製造に関する技術：LSI 故障・欠陥検出法（テスト手法，テスト容易化設計法），チップの歩留まり解析，歩留まり向上設計法，レイアウト設計・解析手法，故障モデルの解析，信頼度解析，性能評価などの理論的解析手法

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は，上述したような技術を，応用分野の枠を超えた高性能・高信頼・低消費電力な機能集積情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています．本研究会では上記内容を中心としていますが，それらにとらわれず，各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します．

次回の第 68 回機能集積情報システム研究会は，海峡メッセ下関 803 会議場にて開催致します．皆様奮って御参加下さい．

プログラム

1. 2 次元メッシュ NoC に対する故障領域の通過に基づく耐故障ルーティング法　○黒川陽太・福士　将（山口大）
2. アプリケーションの要求精度に応じた近似全加算器と補正機構による乗算器の設計
   ○溝畑亮雅・岩垣　剛・市原英行・井上智生（広島市大）
3. ニューラルネットワークに基づく眼科手術用左右眼判定
   ○田中晴之・湯本高行・礒川悌次郎・上浦尚武（兵庫県立大）・升本浩紀・田淵仁志（三栄会ツカザキ病院）
4. ブロックチェーンの分割による Proof of Work を用いた安定的合意形成　○鳥居直生・北神正人（千葉大）
5. 反復再重み付け最小二乗法の FPGA による高速化の検討　○石倉健太郎・金澤健治・安永守利（筑波大）
6. 行列-ベクトル積演算に対する線形符号を用いた誤り訂正法と NN への適用に関する検討
   ○吉田　廉・金子晴彦（東工大）
7. FPGA を用いた TCP/IP 通信実装 CP-SAR 画像処理システム
   ○浜口　暢・難波一輝・Josaphat Tetuko Sri Sumantyo（千葉大）
8. 異なる電源電圧に対する耐ソフトエラー性ラッチ回路への中性子線照射実験　○難波一輝・上野弘貴（千葉大）
9. GPU による監視カメラ映像における入退室判別の高速化　○豊倉弘之・三浦康之（湘南工科大）
10. Avalon Interconnect に即した FPGA 間通信網の設計法に関する研究報告
    ○三浦康之・深瀬直久・半田寛信・古市晃久（湘南工科大）
11. 16 ビットプロセッサ NT-ProcessorV1 用エミュレータの大学情報工学科入門科目への応用
    津田伸生（金沢工大）

【申込・問合先】

市原英行（広島市大大学院情報科学研究科）
E-mail：ichihara@hiroshima-cu.ac.jp

主催　ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会